

福祉あさくち



表紙のこぼ

おもちゃの病院 オープン

「壊れたら修理する。モノを大切にしたいね。」「子どもの笑顔が代償です。」

社会福祉法人 浅口市社会福祉協議会

- | | | |
|----------------------------------|----------------|------------------|
| ☐ 本 所 | 浅口市鴨方町鴨方73 | TEL 0865-44-7744 |
| ☐ 金 光 支 所 | 浅口市金光町占見新田751 | TEL 0865-42-7308 |
| ☐ 寄 島 支 所 | 浅口市寄島町7540-5 | TEL 0865-54-3317 |
| ☐ カニ丸の家 | 浅口市寄島町16089-17 | TEL 0865-54-3113 |

地域福祉座談会を終えて 住民参画で地域福祉を推進しよう

地域福祉座談会は、社協職員が地域に出向き、社協が行っている福祉事業の説明や社協が目指す地域づくりに対して、住民の方々のご意見やご知恵をいただき、より良い事業内容とするために、毎年各地域で開催しています。

今回の座談会は、従来の社協事業の説明一辺倒の形式から、住民の方々から多くのご意見をいただくために、グループワークの形式を取り入れました。グループ協議のテーマとして、「こんな地域になったらいいな」と「私たちにできること」2つのテーマについて意見を出し合っていました。



なごやかな雰囲気での地域福祉座談会

「こんな地域になったらいいな」

- 何歳になっても安全安心に暮らせる地域
- 昔の隣組のような住民同士が助け合う、支え合う地域
- 近隣同士での安否確認や見守りを行う地域
- 誰もが気軽に集まって話ができる地域
- 地域の課題を地域の皆で解決する地域
- 子どもを安心して産み、育てられる地域
- 子どもの健全育成のための安全な遊び場がある地域
- 若い人が住み、子どもの笑い声が溢れる地域
- 3世代が同居する家庭が多い地域
- 草取り、ゴミ拾いを皆で行う環境美化の地域
- 福祉タクシーや福祉バスがある地域
- ボランティアの輪が広がる地域

「私たちにできること…」

- 一人暮らし高齢者の見守り、声かけができる
- 作った野菜などを持って一人暮らし高齢者を訪問する
- 認知症高齢者の見守りなどの生活支援ができる
- 児童の登下校時の見守りと明るい挨拶をする
- 子どもを守るため安全パトロールをする
- 高齢者の買い物等に対する車での送迎ができる
- 地域内のゴミ、カン拾い、公共施設の清掃をする
- 昔話などを子ども達に聞かせることができる
- 趣味や特技（琴、詩吟、パソコン）を教えることができる
- 野菜づくり、花づくりを教えることができる
- 一人暮らし高齢者や虚弱高齢者へお弁当を作る
- サロン活動などのボランティア活動ができる

地域福祉座談会の実施状況

会 場	日 時	参加人員
共愛公会堂（鴨方）	2月25日（水）19:00~20:30	27人
六愛公会堂（鴨方）	2月27日（金）19:00~20:45	17人
青佐公会堂（寄島）	3月4日（木）14:45~16:00	15人
有井公会堂（鴨方）	3月5日（木）19:00~20:30	24人
町小路公会堂（鴨方）	3月6日（金）19:00~20:30	19人
八重コミュニティハウス（金光）	3月7日（土）19:00~20:30	21人
福井公会堂（寄島）	3月10日（火）19:15~20:30	13人
須恵公会堂（金光）	3月11日（水）13:30~15:00	24人
JA岡山西 西六支店（鴨方）	3月11日（水）19:00~20:35	41人

少子高齢の今こそ、

地域の福祉は地域で高める

今回の座談会を通じて、住民の方々が浅口市においても少子高齢化や核家族化が急速に進んでいることへの不安感を強く感じていることがわかりました。

地域の中の子どもが昔に比べて

激減していること、一人暮らしの高齢世帯が年々増えていること、車が運転できない方が買い物や病院に行けず困っていること、認知症の高齢者を支えているご家族の苦勞など、地域には様々な生活課題があり、それらは他人事ではないと感じていらつしやいます。

これからの地域には、自助（本人・家族の努力）、公助（公的な支援）、そして共助（地域住民が共に助け合い、支え合う力）が必要であり、この協働により私たちは、住み慣れた地域で、いつまでも安心して暮らすことができます。

今こそ、地域の福祉力をたかめるために、住民参画による地域づくりを進めていく必要があります。

地区社協を進めよう

前回の広報紙でも紹介いたしました「地区社協」とは住民同士が自分たちの生活する地域の課題や困りごとについて、解決に向け



各人の意見を模造紙に貼ってゆきます

て協議する地元住民主体の活動組織です。町内会長（区長）、民生児童委員、福祉委員などを中心に地域を良くしていくために活動されている方が参加し協議しながら、敬老会などの地域内の行事や見守り活動、ふれあいサロンなどを盛り上げていただき、住民同士の助け合いの輪を広げていくことを目的として設置されています。

社会福祉協議会は、この「地区社協」の設置を進めてまいりますので、住民の方々のご理解とご協力をよろしく願います。

参加者のこえ

小坂東地区 Kさん

今回の座談会に参加する以前から、地域住民が助け合う仕組みづくりの必要性を感じていました。小坂東も高齢化が進んでいます。今後、地域内でいろいろな役を持っていける方に集まっていただき、助け合いの仕組みづくりについて、話し合う必要があると思いました。

須恵地区 Tさん

区長さんから依頼を受けて話を聞いただけならと思って参加したら、いきなり紙とペンが用意されていてびっくりしました。次第に雰囲気になれてきて普段何も気にしていなかった自分が住んでいる地域の進展に向けて考える良い機会になったと思います。



予算を審議する評議員会

平成21年度 事業実施計画

社協のつどい

浅口市社会福祉協議会では、地域のみなさんや各種団体、行政との連携を強め、地域のさまざまな福祉の問題をみんなで考え、協力して解決を図り、「人にやさしい福祉のまちづくり」をすすめてまいります。

事業方針

1. 社協組織・基盤の強化

- ・地区社協の設立推進
- ・住民会員制度への加入促進

2. 小地域福祉 ネットワークの充実

- ・いきいきふれあいサロンの設置促進と活動の充実
- ・地域内見守りネットワークの構築
- ・住民生活の福祉総合相談窓口の実施と関係機関との連携

3. ボランティアセンター 事業の推進

- ・児童生徒ボランティア活動普及と福祉の心の醸成
- ・手話、音訳など各種ボランティア養成事業の実施
- ・ボランティア連絡協議会との連携・協働

4. 児童問題に対する 事業の実施

- ・子育てサロン・おもちゃ病院など子育て支援事業
- ・父子母子世帯を支援する福祉事業の実施

5. 低所得者対策の実施

- ・生活福祉資金（離職者支援資金を含む）の貸付事業の円滑な運営
- ・緊急小口資金等の貸付事業

6. 日常生活自立 支援事業の推進

- ・サ[]ビスに関する啓発・広報の実施
- ・関係機関との連携
- ・専門員の資質向上と生活支援員の強化

7. その他の各種事業の実施

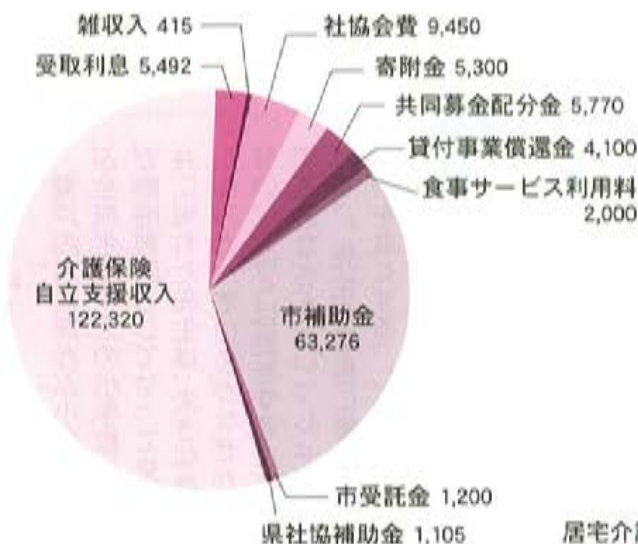
- ・福祉車両、福祉備品の貸出
- ・共同募金・日赤社費の事務局
- ・各種団体との連携と協働



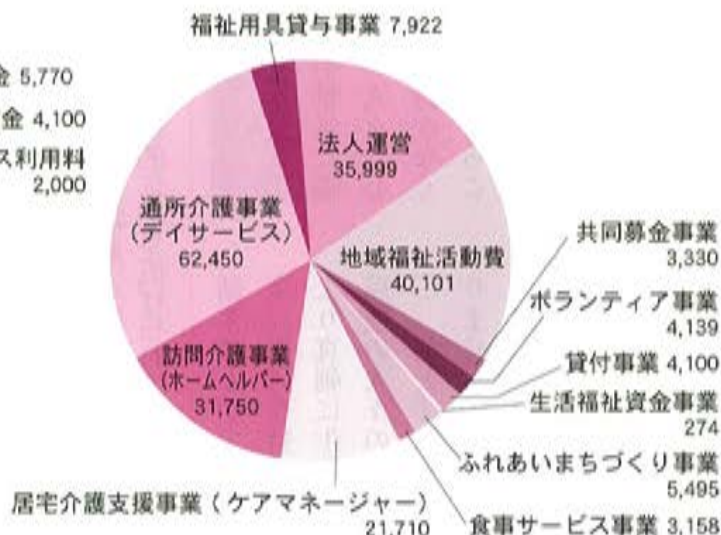
介護保険の一翼をになうカニ丸の家

予算内訳

収入（総額 220,428 千円）



支出（総額 220,428 千円）



事業内訳

地域福祉推進事業収支予算

収入 (千円)		支出 (千円)	
社協会費	14,750	人件費	47,563
寄附金		事務費	14,720
市県補助金	64,381	事業費	29,193
共同募金配分金	5,770	貸付金	4,100
貸付事業償還金	4,100	団体催事金	1,020
食事サービス等利用料収入	2,030		
受取利息雑収入	5,565		
計	96,596	計	96,596

介護保険、障害者自立支援事業収支予算

収入 (千円)		支出 (千円)	
デイサービス事業	62,450	人件費	100,042
ホームヘルパー事業	31,880	事務費	11,460
ケアマネージャー事業	21,710	事業費	9,103
福祉用具貸与事業	4,942	予備費	3,227
障害者自立支援事業	1,650		
市受託事業	1,200		
計	123,832	計	123,832



重要性を増している子育て支援



まごころをお届けする給食サービス

機関車先生

感想文



親子で観覧する人もいて

百年に一度という不景気に喘ぐ日本(いや世界中)。人々の心は荒み、思いやりの気持がなくなつて不安に戦く日々だからこそ、人間とは、人道とはについて改めて深く考えてはどうかと思ひます。

機関車先生は、剣道の試合で「のど」を突かれ、そのために

ストーリー

瀬戸内海に浮かぶ小島、菜名島。そこで学ぶ全校生徒7人の小学校に、ある1人の青年が臨時教師としてやって来た。春風の到来と共に現れた先生は、大きな身体に優しい眼差しをうかべているがなぜか一度も口をきかない。「ぼくは話をする事ができません。でもみなさんといっしょにしっかりと勉強します。」先生が黒板に書いた言葉に子供たちは目を丸くする。しかし、すぐに「機関車先生」とあだ名をつけ大はしゃぎする。

機関車先生を演じるのは人気俳優、坂口憲二。初の主演映画で、口のきけない主人公という今までにない難役を清々しく熱演。そして堺正章、倍賞美津子ら豪華実力派キャストが出演。美しい海と深い緑に囲まれた島を舞台に、温情あふれるさまざまな人間模様が叙情的に繰り広げられている。

話すことができなくなつたので

す。障害を持つ人が持たない人より真剣に生きる様、その姿が周囲の人々の考えを変えてゆく。何とすばらしいことではありませんか。暴力をふるわれても決して手を上げずじつと耐えている先生、弱虫と言われながら徐々に人の心を変えてゆき、最後に島を離れる場面では、子供達全員の見送り、感動の場面

でした。

私が参加した会場には若いお母さんが小学生位のお子さんを二人連れて一生けん命瞳をこらしていらつしやるのを何組も見受けて、誠によるこぼしいことと感心いたしました。

森原さん

心で伝わるものが大切

「話さなくても、伝えられる物がある。」という言葉がパンフレットを見て目につきました。見に行ってみると、すごくいいお話でした。「話さなくても、伝えられる物がある。」という意味が分かった気がします。言葉を話さなくても心で伝わるという意味だとわたしは感じます。さいしょは、き・か・ん・しゃ・せ・ん・せ・い? ってなんだ?? と思ったけど、見たら分かりました。みんなおもしろい名前をつけたなあ、なんて思っちゃいました。

小学校3年生

自分を見直す材料に

私はこの映画と同時期に生まれ育った70才前の男性です。小さな分校で環境も良くにいます。大変懐かしく共感を覚ええました。小さな漁村の実力者は漁師の網元で新しい先生が赴任すると子供より親の方が関心を持つ時代でした。言葉を話せないハンデを持ちながら母の生まれした小さな離島に先生として行く勇氣はすばらしく、余所者を受け入れない時代にじつと我慢している態度は、今の社会は見習ってほしい所です。家庭内や一般社会でも、ちよつと気に入らねばすぐキレる、犯罪を起す社会、実力を知ったら手のひらを返す態度大変見苦しい。私自身少なからず心当りがあります。自分を見直す材料にしたいと思っています。

M・U



若い頃は？

齋さん：百姓一本で、養蚕とタバコ作りをやっとりました。タバコの近くに桑を植えることが出来んから(※)、自然と養蚕は廃れていきました。

中代さん：あの頃は近所中が夜中まで働いて、まるで競争のようじゃったなあ。「もう隣は起きて畑に出とる」って具合に、みんな頑張っていました。

齋さん：今は「ゆとり教育」とかなんとか言っとるけれど、あの頃はゆとりなんてもんはなかったなあ。

「ヒアリングは難しい」

齋さん：趣味というわけでもないけれど、孫が中学に入って英語を勉強しているのを見て、自分もやってみようと思ったってテキストを買うたんじゃ。10年ほど続けたかなあ。昔は口^マ字も読めんかったけれど、チラシの英文くらいなら分かるくらいにはなりました。平成5年の5月から平成6年の3月まで、町でやっていた英会話教室にも通っとりました。

中代さん：私はお父さんが出しっぱなしにしとるテキストの片付け係。当時は熱心に勉強していて、いっぺん手術をお父さんが受けたことがあったけれど、その次の日にはもう本

を開いてたもんなあ。今は目が薄くなって読むのが辛くなったみたいだけど。

元気の秘訣は？

齋さん：好物はベジタブル(野菜)。フィッシュ(魚)は全然ダメ。魚を食べないことが長生きのコツかなあ。(笑) まあ特別な健康法を意識しない、自然に任せることが秘訣といえは秘訣じゃろうな。

中代さん：偏食相手にメニューを考えるのが大変じゃったよ。削りかつおも食べんくらいじゃからなあ。以前お父さんが草刈機でげしを刈ってた時に3mくらいの高さから落ちたことがあったけど、骨一つ折らんかったから魚を食べんでも元気なんじゃろうな。

齋さん：あれは2006年の5月24日じゃった。(すごい記憶力！) お母さんは毎日、新聞配達に行っとるくらい元気じゃな。

中代さん：日原だけじゃけど、毎日朝6時から配り始めて配達が終わってから朝食を作りようります。20年前からずっと続けてるから、元気なうちはまだまだ頑張りますよ。

(※) 蚕はとても繊細な生き物で、えさ用の桑畑の近くにたばこを植えるとそれだけで蚕が死んでしまうことがあるそうです。

カメラレポート

◀ ボランティア交流会
鴨方地区のボランティアが一堂に会し、団体同士の交流を図り、日ごろの労をねぎらい、楽しい交流をしました。



▼ たんぽぽまつり

会場全体がひとつになった即席合唱団「タンポポ」の歌声がホール内に響きました。



▲ 集まれ寄島っ子おたのしみ会
ももっちも登場し、ビンゴゲームなどで盛り上がりました。

- 1位 王子チーム
- 2位 八重チーム
- 3位 池の平チーム
- 4位 金光占見チーム
- 親善1位 石井チーム
- 親善2位 ときわチーム



優勝 王子チーム

社協杯
ゲートボール大会
4月14日に、15チームが参加して行われました。

▼牛乳パックでいす作り

「ちょっとチョットちょっとボランティア」の方より「一人暮らしの会で使ってください」と牛乳パックで作ったいすの寄贈を受けました。



▲片本つくろう会 作品展示会

片本サロンつくろう会の作品の展示会がありました。地域の方が集まり、笑顔の輪が広がりました。

寄贈ありがとうございました



▲ヤクルト車いす寄贈

ヤクルト販売株式会社より車いすが寄贈されました。高齢者や障害者の方、一時的なケガなどにより車いすが必要な場合にお気軽にご利用ください。



▲福祉車両寄贈

西日本放送株式会社の24時間テレビ「愛は地球を救う」より福祉車両が寄贈されました。車いすのまま乗り降りのできるようになっていますので、お気軽にご利用ください。



各地方特有の食材は、食を通じてその地域ならではの文化や習慣・産業などを伝えることにつながる存在だ。数年前ブームとなった、長崎県の「佐世保バーガー」に続けと県内各地でもご当地バーガーが登場している。岡山県内では「蒜山バーガー」(真庭市)「明治こんぼうバーガー」(井原市)「たまげたバーガー」(玉野市)などが人気を呼んでいる。浅口市のご当地バーガーが待たれるところだ。素麺でも牡蠣でも梨でも入れてみてはどうだろうか？

(土)

地元食材で街おこしー
「浅口バーガー」を

みんなで
食育



手話講座を終えて！

障害をもつ方と共に暮らせる社会のために

今回の講座は、障害者自立支援法に基づくコミュニケーション支援事業の一環として、浅口市と浅口市社会福祉協議会が実施したものです。聴覚障害者の方との円滑な意思疎通を図るために、手話で日常生活を行うのに必要な基本的な手話表現技術の習得を目的とした手話奉仕員養成の第一歩となる研修です。20名の方が熱心に受講されました。昨年の10月から毎週火曜の午前中に講座が行われました。

受講者の感想

手話も一つの言葉

金光町 友田かをりさん

海外で生活した時に、言いたいことがうまく伝わらない、相手の言っていることが理解できないなど、意思疎通がうまく図れなかった時、「言葉が通じる」って本当に重要だなと思っていました。この講座を受けて、「手話も一つの言葉である」と言うことを改めて感じました。大きなことは出来ないけど、手話を覚えて、もっと身近なものにすることで、手助けの一步になれば良いと思っています。町もバリアフリーに、そして人の心もバリアフリーになれば良いですね。

手段はいろいろ

鴨方町 加藤登美子さん

聴覚障害者の方と健聴者とは見た目はまったく分かりませぬ。今まではろうの方かなと見かけてはいてもあえて近寄らない（悪い表現で見えてみぬふりする）自分がいました。でも受講して、身振り、手振り、口話もある、それでも駄目なら筆談すれば良いのだと分かりました。ろう者の方と交流がもっと深まるように頑張っている人達が年齢を問わずいることを知って頂き、互いの交流の輪を広げられるような環境が整って行なって欲しいと思います。

お互い様の心

金光町 津郷奈穂子さん

手話を知らない私が、受講者同士で助けたり、助けられたりしながら楽しく勉強できました。仕事の関係もあり、これからもっと積極的に挑戦して行きたいと思っています。私には視覚障害者の知人がいます。時々一緒に町を歩くと健常者の。鋭い。偏見の目に出会うことがあります。障害者の人も元気な人も、心のバリアを外して、お互い助け合っていける社会になればと思います。

講師から

岡山県聴覚障害者福祉協会

河村季代美さん

今回初めて養成講座の講師を引受け、緊張していましたが、参加者の皆さんとても熱心に取り組み、コミュニケーションを取る事もスムーズにでき感謝しています。講座では、テキストを基に進めて行き、子育て中には子供の泣き声が聞こえない、ろう者は外見では判りにくいため、病院で名前を呼ばれても聞こえないので長時間待ったこと、金額の表示がないレジでは「〇〇円です」と言われても聞えないなど、困ったことや不便な事を手話で表現して私たちの日常生活も知ってもらいました。わからない手話表現を、理解できるようにお互いに助け合い協力し、笑顔が一杯の盛り上がった講座でした。

手話通訳者

川手 秀己さん

聴覚障害者の社会参加を促進するためには、手話通訳制度の充実と合わせ、手話の一般市民への普及が欠かせない課題です。今講座の受講生の皆さんは、大変熱心で積極的に講師としてはとてもやり易く、つい力が入り無理なお願いをしたかもしれません。が、最終日に行った手話での意見発表では、堂々と手話表現で発表されており大変感激しました。今後、受講生の皆さんには、この講座をきっかけに聴覚障害者の良き友となり、手話普及の一翼を担っていただく事を願っています。

手話であいさつ

こんにちは

目の前で交差していた両手をさっと扇形に左右に開きます。



よろしくお願いします

右手のにぎりこぶしを鼻にあて、少し軽く前に出します。



浅口手話サークル「青い鳥」

活動内容

- ・手話技術の養成
- ・手話サークル関連の研修、行事への協力、参加
- ・手話出前講座（小学校等での手話指導）

活動日

第2・4日曜日 AM9:30～11:30（手話勉強会）
第2土曜日 PM7:00～9:00（自主勉強会、交流会）

場所

健康福祉センター ボランティア研修室

申込み等

浅口市民課 0865-44-7744

手話奉仕員養成講座基礎編

日時 平成21年6月2日(火)～平成21年12月8日(火)
10時～12時 全24回(8/18、9/22、11/3、
11/10を除く、毎週火曜日)

会場 浅口市健康福祉センター 3F多機能研修室

定員 25名(先着順)

対象者 浅口市内に在住の方で
・手話奉仕員養成講座・入門編を修了した方
・入門編修了者と同程度の手話サークル会員

参加 無料(テキスト代 実費1,470円)

申込み 5月11日(月)～5月22日(金)(土・日・祭日を除く)

浅口市社会福祉協議会 本所・支所へ

モデル地区報告

もっともっと ご近所福祉ネットワークを

浅口市社会福祉協議会では、地域における福祉問題を地域の問題としてとらえ、住民相互の助け合いを推進し、世代間の交流や連帯意識を高めることを目的として、「ご近所福祉ネットワーク」普及モデル地区指定事業を実施しています。指定地区の中から、「ご近所」ならではの活動を紹介します。

指定地区

金光―上竹、須恵、佐方、駅胡麻屋
 鴨方―みどりヶ丘、六愛、鳩ヶ丘、向月
 寄島―西安倉、早崎、青佐

モデル地区の活動のめやす

○地区における世代間の交流活動

- ・子ども会、青年団体、女性団体、老人クラブなどが連携した地域活動
- ・地区に伝わる伝統行事を次世代に伝承する活動

○要援護者への地域ぐるみの見守り活動

- ・独居老人等への定期的な見守り活動
- ・学童とのあいさつ運動やミニ学童保育所の開設
- ・障害者世帯や高齢者世帯を対象とした会食会

○地域福祉や地域連帯を啓発する事業

- ・福祉に関する講演会やイベントの開催
- ・地域ぐるみの文化スポーツ活動や花いっぱい運動

○福祉に関する地区の調査・研究活動

- ・防災や交通安全に関するマップ作り

世代交流

すいかわり ―老人クラブと子供会―
 (鴨方・鳩ヶ丘地区)

老人クラブと子ども会でスイカ割り。歓声がわきました。



健康づくり

歩け歩け大会 (寄島・青佐地区)

公会堂から三郎島まで、さわやかな汗を流しました。



伝承

吉備神楽（金光・佐方）

この地に古くから伝わる吉備神楽の舞は地域の子どもたちにも受け継がれています。



文化

サロン作品展示会（鴨方・みどりヶ丘）

サロンで作った手芸作品を一堂にそろえて展示しました。



健康づくり

ふれあいサロン（金光・駅胡麻屋）

ふれあいサロンを定期的を開催。男性も多く参加しています。



伝承

フナ飯交流会（鴨方・六愛地区）

かつてフナ飯は、冬場の貴重なタンパク源。懐かしい味に舌鼓。



ご近所福祉ネットワーク普及モデル事業 指定地区を募集します

住民相互のたすけあいを推進する活動を先駆的・開発的に取り組む地区を募集します。

具体的な活動

- ・地区における世代間の交流事業
- ・地域連帯や文化伝承を通じた事業
- ・要援護者の地域ぐるみの見守り活動
- ・地区内の福祉に関する研究・調査活動

- モデル地区は毎年6か所を上限として指定します
- モデル地区の指定は2ヶ年とします
- 町内会単位で申請し、その規模に応じて助成金を支給します
- 申請書、事業計画書、実施報告書等の提出を求めます
- 今年度の締め切り：6月5日(金)

詳しくは、浅口市社協本所・支所にお尋ねください



ゴルフクラブで杖

不要になったゴルフクラブ お譲りください

社会福祉協議会では、住民の方々の散歩等の際に役立てて頂こうと不要になったゴルフクラブを加工し、歩行用の補助杖としての再利用を考えています。

ご自宅で眠っているゴルフクラブがございましたら、最寄りの社会福祉協議会までご連絡ください。

(この事業は、市内の方の提案によるものです。ありがとうございました。)



速報

“そば打ち習ってボランティア”

地域のサロンで、またはイベント時の活躍の場としてそば打ちに挑戦してみませんか？どなたでも、気軽にご参加ください。

- ・講座回数 6月、7月、8月、3ヶ月間で月2回計6回シリーズ。
- ・日時 第2・第4月曜日9時～12時（初回は6月8日）
- ・場所 金光ボランティアセンター（金光竹幼稚園跡）
- ・内容 そば打ち体験学習（見本打ちを試食し、自作分=持ち帰り5人分）
- ・参加費 1回当たり1000円（材料代として）
但し、半額500円を社協が補助

- ・定員 10人程度

但し、定員を超えるような場合は、お断りさせていただく可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

- ・講師 児島 孝一先生（金光手打ちそばボランティア会長）
- ・申込み先 浅口市社会福祉協議会本所、支所に電話して申し込んでください。

本 所 44-7744 金光支所 42-7308 寄島支所 54-3317

地区社協を作ろうを読みました。
「誰れもが安心して暮らせる福祉の町づくり」に少しでもお役に立てるよう、私も地区活動に参加させていただきます。

鴨方町 横山さん

みんなで食育
マコタチニワヤサシイ
覚えやすく役立っています。

金光町 河手さん

話ではありませぬように」と唱えてから受話器を取っています。

金光町 山田さん

福祉あさくち
ボイスメッセージ

クイズの答えとともに
「福祉あさくち」の
感想をお寄せください



私は昼間自宅に居る時は、株取引や化粧品等様々な勧誘やセールスの電話が、しょっちゅう掛かってきます。電話が鳴るたびに「変な電話ではありませぬように」と唱えてから受話器を取っています。

篤志御礼

(平成21年3月31日まで)

ご寄付ありがとうございました。地域福祉事業に有意義に使用させていただきます。

鴨方町

- 今井義徳さん(鴨方)より
亡父 康温さんの香典返し
- 虫明徳治さん(六条院中)より
亡父 睦元さんの記念祭感謝
- 楠木 享さん(地頭上)より
亡父 毅さんの香典返し
- 飯田 勝さん(鴨方)より
亡父 毅さんの香典返し
- 今井孝志さん(益坂)より
亡母 繁子さんの香典返し
- 高木万富さん(六条院中)より
亡母 阿吹美智子さんの香典返し
- 石田 豊さん(鳩ヶ丘)より
亡母 留さんの香典返し
- 楠木 勝さん(地頭上)より
亡父 節夫さんの香典返し
- 笠原 毅さん(小坂東)より
亡母 美智子さんの香典返し
- 永廣慎一さん(六条院東)より
亡父 一次さんの香典返し
- 横山龍平さん(小坂西)より
亡祖母 栄さんの香典返し

- 瀬尾睦子さん(鴨方)より
亡夫 周一さんの香典返し
- 高橋純一さん(益坂)より
亡父 唯士さんの香典返し
- 原慎太郎さん(小坂東)より
亡父 敬一さんの香典返し
- 田中 実さん(鴨方)より
亡父 從道さんの香典返し
- 横山泰彦さん(小坂東)より
亡父 保さんの偲び草として
- 吉田常子さん(小坂東)より
亡夫 雅亮さんの香典返し
- 井上長英さん(小坂西)より
亡母 ミヨノさんの香典返し
- 竹下 茂さん(本庄)より
篤志寄付
- 赤田候子さん(六条院中)より
篤志寄付
- みどりヶ丘町内会より
篤志寄付
- 荒木正光さん(佐方)より
亡父 悦男さんの香典返し
- 西澤清雄さん(大谷)より
亡母 久子さんの香典返し
- 田中 泉さん(大谷)より
亡父 誠さんの香典返し
- 渡辺明子さん(大谷)より
亡夫 健次さんの香典返し
- 定金敏郎さん(占見新田)より
亡母 ミ子さんの香典返し

金光町

- 山田 篤さん(占見)より
亡父 眞澄さんの香典返し
- 河本賢次さん(下竹)より
亡父 増夫さんの香典返し
- 川手通弘さん(上竹)より
亡母 トヨ子さんの香典返し
- 岡本 猛さん(地頭下)より
亡母 馨さんの香典返し
- 位本敏一さん(占見新田)より
亡父 清さんの香典返し
- 斎藤一夫さん(総社市)より
亡母 芳子さんの香典返し
- 荒木優美さん(佐方)より
亡夫 英昭さんの香典返し
- 大橋啓二さん(八重)より
亡母 壽枝さんの香典返し
- 中務 光海さん(占見新田)より
亡母 シモエさんの香典返し
- 鍋谷和彦さん(占見新田)より
亡父 来二さんの香典返し
- 楠木 進さん(下竹)より
亡母 隆子さんの香典返し
- 森山倫男さん(八重)より
亡母 薫さんの香典返し
- 亀鷹啓三さん(佐方)より
亡母 イサエさんの香典返し
- 弓削伯記さん(佐方)より
一般寄付

寄島町

- 坂本桂三さん(早崎)より
亡母 相子さんの満中陰志

- 斎藤嘉造さん(東安倉)より
亡父 毅さんの香典返し
- 大嶋寛通さん(鏡)より
亡母 ツヤコさんの満中陰志
- 大島邦久さん(片本)より
亡母 有恵さんの香典返し
- 中濱悦治さん(三郎)より
亡母 富江さんの香典返し
- 秋田広雅さん(柴木)より
亡母 三子さんの満中陰志
- 大嶋眞幸さん(片本)より
亡父 嘉志夫さんの香典返し
- 田中 勉さん(中安倉)より
亡母 スエコさんの香典返し
- 荒川廣己さん(鏡)より
亡父 八郎さんの満中陰志
- 村上美津子さん(柴木)より
亡夫 芳顕さんの香典返し
- 佐藤賢次さん(宮通)より
亡父 政夫さんの偲び草
- 萬木敬子さん(西安倉)より
亡義父 康雄さんの香典返し

訂正とお詫び

2月1日発行の第11号の篤志御礼のお名前に誤記がありました。訂正しお詫びいたします。

- 誤 丸山三生さん
- 正 丸川三生さん
- 誤 岡辺英文さん
- 正 岡田英文さん



浅口

おもちゃの病院



子どもたちの大事なおもちゃ、こわれてしまって遊べない。もう捨てようかなー。

ちょっとまって、治せばおもちゃがよみがえり、まだ遊べますよ。

おもちゃの病院で治しましょう。

開催日時：5月17日(日) 9:00~12:00

6月21日(日) 9:00~12:00

7月19日(日) 9:00~12:00

(今後、金光・寄島でも実施予定)

ご存知ですか

福祉車両の貸し出し

車いすを利用される方が気軽に安心して外出できるよう、車いすに乗ったまま乗り降りできる福祉車両を貸出しています。

申込手続：3ヶ月前から申し込み受け付け、利用期間は4日間まで可能

利用目的：福祉向上のための研修会等、旅行、ドライブ、買い物など

利用料：無料(燃料等は自己負担、誓約書を求めます。免許証のコピーをいただきます。)

福祉あさくち

提供：鴨方高校まんが愛好会
画：いちご牛乳

4コマ劇場



編集後記

鯉のぼりの季節。鯉のぼりは登竜門の伝説のとおり、男児の立身出世を願ってあげるとか。少子化の世、地域の期待を一身に背負って泳いでいるように見える。皆様のご健勝をお祈りします。次回は9月発行予定。

風吹けば来るや隣の鯉幟

虚子

力ある風出てきたり鯉幟

渚男

応募方法

官製ハガキに住所、氏名、答えと「福祉あさくち」の感想を必ずお書きの上、〒719-0243 鴨方町鴨方73番地 浅口市社会福祉協議会まで。正解者の中から抽選で20名に記念品贈呈。

◆前回のこたえ

ユキガッセン(雪合戦)でした。

6月30日 消印有効

◆締め切り

クイズ 探して並べて

今号の紙面に□で文字をかこんだ箇所が7か所あります。この7文字をならべかえて、言葉をつくって下さい。

「定額給付金」の給付をよそおった振り込め詐欺等にご注意！